

総選挙告示／政権交代かかげた歴史的決戦の火ぶた切る

安倍・菅・岸田自公政権の国民不在の政治の継続か、市民と野党の共闘＝日本共産党躍進で野党連合政権を実現するか、歴史的総選挙の火ぶたが切られました。

白川よう子比例候補は、香川県の政党カーで午前9時30分から、高松市番町の高松市役所前で総選挙第一声、約150人が参加しました。

白川さん、香川・高松市役所前で第一声

白川候補は、医療現場で働き、「命こそ第一」との思いで国政に挑戦したとのべ、「みなさんの一票で新しい政権を実現しよう。あなたの命を守る、暮らしを大本から変える政治へと」と呼びかけました。また、自身のDV体験、党首討論で夫婦別姓に岸田首相がただ一人賛同しなかったことをあげ、四国には女性衆院議員が一人もいないとして、「女性の願いを届ける議席を、ジェンダー平等社会への扉を四国から」と訴えました。

四電前の脱原発金曜日行動に参加している吉富キティさんが「白川さんは四国の全市町村を回り、冷酷な新自由主義に苦しめられている声を聞いてきた。白川さんこそ地域再生に寄り添える」「白川さんを国会に送れば男女平等に進んでいける、何としても白川さんを国会に」と応援の言葉を語りました。



檜昭二県議団長は、「自民多数の県議会でベッド数を減らす、教員定数削減の法案が通された。米価の下落で農家は米作ってもご飯が食べられない。政権交代しかない。白川さんを国会に送って香川から政権交代を」と決意を述べました。中谷浩一香川県委員長は、「18年党国会議員空白だった四国で白川さん勝利、四国から香川から世直しののろしをあげよう」、「共感と支持がかつてなく広がり、6議席目を激しく競っている。法定ビラを使って支持を広げてほしい」と訴えました。

司会の岡田まなみ高松市議が、井角操新社会党香川県本部委員長が参加されていること、香川県後援会長の太田展生・香川県後援会長(病院長)からのメッセージを紹介しました。

▽ 募金と激励メッセージ「GoGoGoGo！」▽

高知県委員会に、仁淀川町の男性から選挙募金5,555円が振り込まれ、つぎのメッセージが書き込まれていました。

- ①うてまっすぐ 貞光生まれ
- ②の流れるように新鮮で
- ③の中変えるこのチャンス
- ④んとやる気のようにじゃき
- ⑤どもの未来をたのむきね!

よう子ちゃんを国政へ絶対に送らにゃ
いかん!!
日本共産党支持をあっちでもこっちで
も増やすけね。
カンバは「GoGoGoGo！」。

★白川さんは、高松市での第一声のあと、12時30分からJR徳島駅前、午後5時から高知市の県庁前で、各県第一声をあげます。

20日は愛媛県入り、朝、四国中央市から出発し新居浜市、西条市に入り訴えます。